





		整理番号	130510358
質問事項		回答	
13. サインプランとサイン詳細図の数量が違います。11. 13ヶ所→9ヶ所, 14. 29ヶ所→21ヶ所, 15. 16ヶ所→12ヶ所, 16. 15ヶ所→11ヶ所, 20. 13ヶ所→9ヶ所, 21. 62ヶ所→42ヶ所, 22. 7ヶ所→45ヶ所, 23. 15ヶ所→9ヶ所, 24. 12ヶ所→8ヶ所, 25. 13ヶ所→9ヶ所, 26. 51ヶ所→39ヶ所, 27. 100ヶ所→72ヶ所で宜しいでしょうか。	A-105において、6階, 9階, 12階は同一キープランとなっており、同様に7階, 10階, 13階も同一キープランとなっております。同一キープランの数量を合計しますと、A-108, 109 サイン詳細図と数量の相違はありません。		
14. 外壁押出メント板の開口の大きさ, 数量が不明です。	建具開口寸法及び数量は立面図, 建具表等から確認して下さい。		
15. A-133 カリフの堅穴区画に伴う出入口遮煙対応について記載が有りませんが不用で宜しいでしょうか。	避難階とその直下階のみに通じる2層吹き抜けで、内装不燃のため遮煙を必要とする堅穴区画には該当しません。		
16. ALC板の開口の大きさ, 数量が不明です。	建具開口寸法及び数量は建具表, カリフ詳細図等から確認して下さい。		
17. 既存躯体撤去(GL-900部分)に伴い, 隣の建物の基礎根入れ深さが不明ですが簡易山留め程度(単管パイプ+ベニヤ)で影響は無いものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。		
18. S-1 鉄骨の錆止めは工場2階塗り+現場タッチアップとして宜しいでしょうか。	設計図書の通り, 工場1回, 現場1回とします。		
19. A-02 錆止塗料についてJIS-K-5674工場1回 現場1回となっております。しかし、JIS-K-5674はロクワールが付着致しません。ロクワール部の塗装は無塗装と考えて宜しいでしょうか。また、外周面の現場1回分の塗装は、工場2回塗りで宜しいでしょうか。	設計図書の通りとします。また、錆止め塗装回数はNo. 18の回答と同様とします。尚、錆止め塗装等の仕様変更が必要な場合は、契約後別途協議といたします。		

		整理番号	130510358
質問事項		回答	
20. S-31・36 にダイヤフラム SN400C とありますが、市中流通しておりません。SN490C と考えて宜しいでしょうか。	S-31 本体鉄骨は SN490C とし、S-36 ギャラリー鉄骨は SS400 とします。		
21. S-39 通しダイヤフラム SN490C(40mm 超は HBL325C) とあります。HBL325C は JFE スチール(株) の商品名であり、建築構造用 TMCP 鋼材と考えて宜しいでしょうか。	建築構造用 TMCP 鋼材とします。		
22. 溶融亜鉛メッキ部の HTB 摩擦面処理の方法の記載がありませんが、F8T のすべり係数試験を行った上、摩擦面をリン酸処理として宜しいでしょうか。	公共建築工事標準仕様書（平成 22 年版）7.12.4(a)(1)の通りとします。 (a)(2)に変更する場合は、監督員の承諾を得たうえで施工するものとします。		
22. 軽量鋼 C 型鋼はカー品 (JIS-K5621 相当) を使用して宜しいでしょうか。	設計図書の通り、現場塗装とします。 尚、仕様変更については、契約後別途協議とします。		
23. 各鋼材は電炉製品で宜しいでしょうか。	梁、柱の主架構は、高炉製品とします。		
24. S-34 SRC 部分人通口以外の梁貫通スラブ補強の仕様が不明です。	S-03b 配筋標準図 11 H-7 タイプによる補強と S-05 鉄骨構造標準図(10)梁貫通補強によるものとします。		
25. S-34 S 造部分の梁貫通スラブ補強の仕様が不明です。	S-05 鉄骨構造標準図(10)梁貫通補強の通りとします。		
26. S-30 参考数量に板厚が 5 サイズ 有りますが設計図書に仕様が有りません。フラットデッキの板厚、使用部位の指示をお願いします。	別添追加図面 2 の通りとします。 尚、フラットデッキの板厚さについては、メーカーの仕様等を確認のうえ、監督員の承諾を得てから使用するものとします。		
27. HTB の軸力検査は鉄骨工事を通して 1 回で宜しいでしょうか。	使用する HTB のメーカーごとに 1 回実施するものとします。		

		整理番号	130510358
質 問 事 項		回 答	
28. S-01	コンクリート強度の算出方法について新JASS 5(2009年版)(設計基準強度+28S91)を採用で宜しいでしょうか。	宜しいです。	
29. K 図	仮設計画図(仮囲い, 構台, 山留め, 既存躯体補強, クレーン, 掘削重機など)は指定仮設でしょうか。指定仮設の場合は設置期間を指示願います。	指定仮設です。 [山留め]A工区:160日, B工区:80日, B工区拡幅後:1段目130日, 2段目100日 [構台]A:160日, B:80日, C:30日, D:80日 [仮囲い]東西盛替え後:15ヶ月, 西面盛替え後:9ヶ月 [揚重機]定置式クレーン:5ヶ月, 解体用クレーン①2ヶ月, 解体用クレーン②:1ヶ月, 工事用高速エレベーター:5ヶ月, ラフタークレーン:1ヶ月	
30. K 図	参考数量, 仮設図にディープウェル工法3ヶ所の計上が有りますが, 指定仮設でしょうか。指定仮設の場合は設置期間を指示願います。また, その場合ディープウェル設置計画の詳細について有りましたら指示願います(鋼管径, ポンプ能力等)。	指定仮設です。 ディープウェルの仕様は以下の通りです。 井戸径φ400 深度12m 3本 ポンプ口径φ80 動力5.5KW 3台 設置期間130日間	
31. K 図	既存仮設物(仮囲い材)について, 工事期間中の損料は無償使用で宜しいでしょうか。損料が必要でしたら明細を教えてください。	支給品となり, 無償使用となりますが, 施工中の管理については, 受注者に行ってください。	
32. K 図	既存仮設物(仮囲い材)について設置不要となった際, 処理はどのようにしたら宜しいでしょうか。	スクラップ処分として積算しております。	
33. K 図	タワークレーン設置に伴う基礎補強, 振れ止め鉄骨補強について, 何か指示が有りましたら教えてください。	躯体の強度及びタワークレーンの仕様等を考慮した補強及び安全確保を行ったうえで施工するものとします。	